組合活性化情報　毎月１日発行　平成28年６月１日

山口県の中小企業

SMALL BUSINESS ASSOCIATIONS OF THE YAMAGUCHI PREFECTURE

6 2016 Jun Vol.698

表紙写真説明
第２回どうもんGW祭り
（山口道場門前商店街振興組合）

特集　2016年版中小企業白書・小規模企業白書の概要

- ―いま、これを伝えたい！―　みどりの風協同組合
- 組合等ニュース紹介
- 山口県中央会60周年記念　表彰組合紹介シリーズ　山口県酒造協同組合　山口県左官業協同組合
- 景況動向
- シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」　株式会社吉田総合テクノ
- 労働保険の年度更新手続等について
- 求人確保等に関する要請がありました
- 山口県中小企業団体中央会青年部第25回通常総会のご案内
- 若手後継者・組合青年部等交流会のご案内

中小企業・組合を応援します！～創業・連携・運営を支援～

山口県中小企業団体中央会

いま、これを伝えたい！

農業の６次産業化を目指して積極的に事業を展開

みどりの風協同組合

農業の６次産業化を目指して組合を設立

平成２年、１次産業×２次産業×３次産業＝６次産業を目指して、有限会社船方農場が、第１次産業の農業生産、株式会社みるくたうんが、第２次産業の食品づくり、そして、株式会社グリーンヒルアトーが、第３次産業の交流サービスを担う農業の６次産業化を目指し、その総合調整機能として組合を設立されました。

６次産業化への取り組み

当組合は、船方農場グループが推進する、「生産の１次産業×加工・販売の２次産業×交流（サービス業）の３次産業＝６次産業」、いわゆる「農業の６次化」の中核として積極的に活動を行っています。具体的には、１次産業として「酪農」、「園芸」、「水稲」など、２次産業として「乳製品」、「肉製品」、そして３次産業の交流（サービス業）として「宅配」、「バーベキュー、イベント等の開催」をグループ間の連携のもと展開しており、農業と２次・３次を有機的につなぐ、農業分野では、ＴＰＰの締結をにらみ盛んに議論されている６次産業化に早くから取り組まれています。

また、消費者に組合の活動を理解してもらうため、「大型イベント」として、５月の連休に動物と大地と触れあえる自然豊かなイベントであり、毎年、多くの親子連れでにぎわう「原っぱまつり」、10月には、ホルンや吹奏楽の演奏会が楽しめる「ホルンフェスティバル」、11月には、新米のつかみ取りや花釣り等が楽しめる「収穫感謝祭船方農場まつり」を実施しています。

０円リゾートづくり

当組合では、早くから、農場の認知度を高めるための方法として、農場を無料で開放する「０円リゾート」をスタートしました。車で片道２時間以内の県内の人に来て貰う場にすること、小学校３年生以下の子ども達が喜ぶ場を作ること、入場料は取らず０円とし、そのかわり自己責任の場とすることとされています。勝手に来て遊んでルールを守り、気を付けて遊びなさいという場を提供されています。

ＨＯＴ！みるくの発行

組合の情報提供事業として、年３回「ＨＯＴ！みるく」を発行され、最新号は94号を数えています。組合情報や組合員企業である各社の新入社員紹介、組合に関係する雑学紹介、イベントの開催状況報告等々、多岐にわたる情報を６ページにわたり紹介し、発行部数は約15,000部と積極的な情報提供をされています。また、年12回の社内報の発行や地域からの農業実習の受入、合同での新入社員入社式、テレビＣＭ放映等々、組合のメリットを活かした共同事業を積極的に展開されています。

坂本理事長が春の叙勲で旭日中綬章を受章

当組合の坂本理事長が、これまでの農業の最前線を走る取り組みが評価され、今年の春の叙勲で、旭日中綬章を受章されました。坂本理事長は、「農村を思う心は誰にも負けない気持ちで命を懸けてきた。この上ない喜び」と受章に感激されていました。

また、「今後も、グループが取り組んできた生産の現場が見え、生産・加工・交流・販売・消費までのシステムづくり、すなわち農業の６次産業化こそ、我が国の農業・農村の在り方と、食に対する安全・安心への最大の提案であり、お手本となったと確信している」とも述べられており、今後も６次産業化への取り組みが大いに期待されます。

みどりの風協同組合

【組合概要】

- ○ 理 事 長：坂本　多旦
- ○ 組合住所：山口市阿東徳佐下1450−39
- ○ ☎ 083−957−0710　FAX 083−957−0719

【組合の主な活動】

共同施設の維持管理、共同宣伝事業

特集 2016年版中小企業白書・小規模企業白書の概要

中小企業庁では、「平成27年度中小企業の動向」及び「平成28年度中小企業施策」(中小企業白書)、並びに「平成27年度小規模企業の動向」及び「平成28年度小規模企業施策」(小規模企業白書)をとりまとめ、４月22日閣議決定されましたので、その中の概要を掲載します。

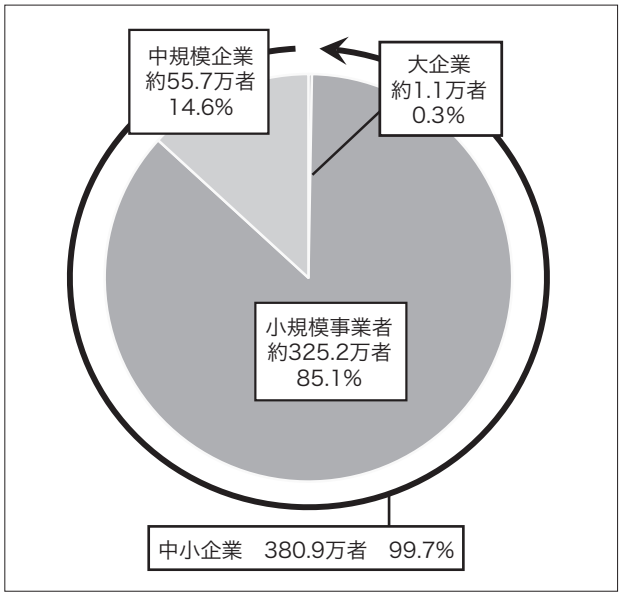
2016年版中小企業白書の概要

第１部　平成27年度（2015年度）の中小企業の動向

●我が国経済の動向／中小企業の動向

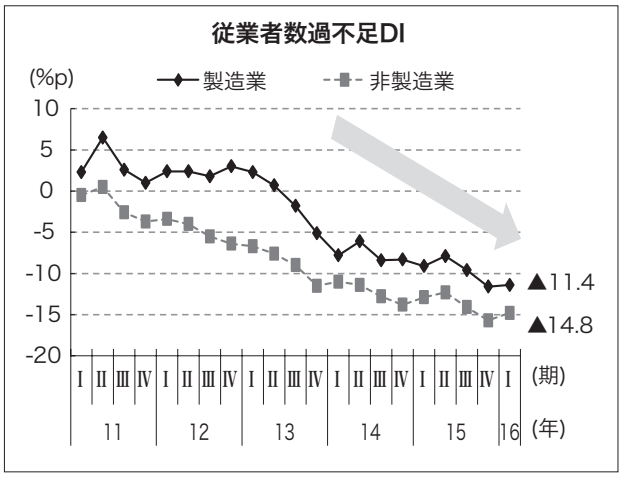
我が国経済は、一部に弱さは見られるものの、緩やかな回復基調にあり、企業収益の拡大や賃金の上昇、雇用の拡大に見られるように、消費の拡大や投資の増加が更なる企業収益の拡大に結びつくという、「経済の好循環」が生まれ始めている。

中小企業においても、経常利益は過去最高水準に達し、倒産件数は減少し、中小企業の事業者数の減少のペースは緩やかなものとなった。他方で、中小企業の経常利益の拡大は、原材料・エネルギー価格の低下等によるところが大きく、売上の拡大を伴ったものではない。そのため、中小企業の設備投資は伸び悩み、設備の老朽化が進んでいるほか、人手不足が深刻化しているといった、中小企業の課題を概観する。



	企業数	従業者数
大企業	1.1万者	1,433万人
中小企業	380.9万者	3,361万人
うち小規模事業者	325.2万者	1,127万人

（資料）「平成26年経済センサス–基礎調査」再編加工



（資料）（独）中小企業基盤整備機構「中小企業景況調査」

●中小企業の生産性の現状

我が国中小企業の生産性は、サービス業を中心として低い水準にあると言われる。そのため、業種別の生産性の分析を行うほか、どのような業種においても、大企業よりも生産性の高い中小企業が一定数存在することを明らかにし、そのような企業は投資に積極的であることなどを示す。

第２部　中小企業の稼ぐ力

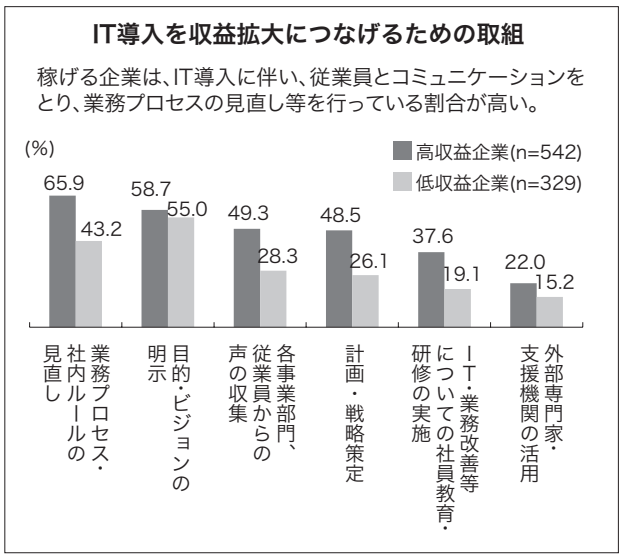
●中小企業を取り巻く環境の変化

中小企業が直面する中長期的な経済・社会構造の変化として、人口減少・少子高齢化、親企業–下請企業を軸とした取引関係の希薄化、情報通信技術の普及拡大、海外需要の拡大、自然災害の高頻度化等について概観する。

●生産性向上のためのIT活用

中小企業の中には、自社の経営状況を把握することができないなど、ITを活用すれば解決可能と考えられる課題を抱えている企業も一定数存在するが、IT人材の不在やIT導入効果の不透明性等を理由に、IT活用が進んでいない。また、IT導入を進めている企業の中でも、十分な効果を得られていない企業も存在する。

そのため、IT活用の効果や、高収益企業における、IT活用を稼ぐ力の強化に結び付けるための取組について分析を行う。

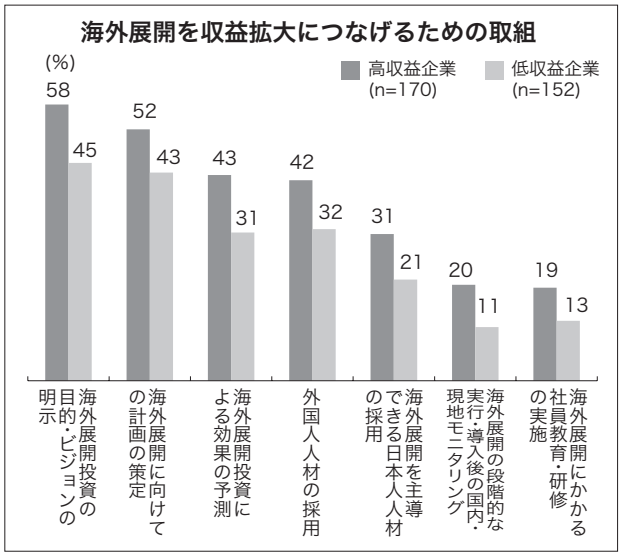


（資料）中小企業庁委託「中小企業の成長と投資行動に関するアンケート調査」（2015年12月、㈱帝国データバンク）

●売上拡大のための海外展開

海外の中間層・富裕層が増加し、訪日外客数は過去最高を更新し、さらに、TPPへの合意を契機に海外との関係の深化が期待されるが、輸出や直接投資、インバウンド対応を行っている中小企業は、増加傾向にはあるものの、まだまだ多くはない。

そのため、インバウンドへの対応も含め、海外展開は、稼ぐ力の強化や国内の従業者の拡大につながることを示すとともに、高収益企業の海外展開に係る取組について分析を行う。

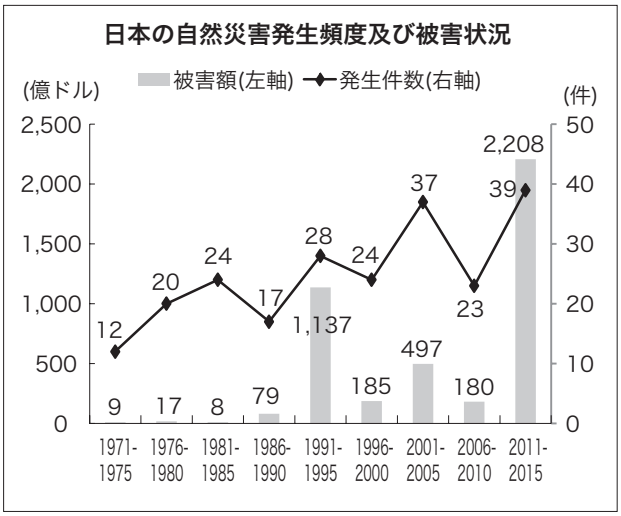


（資料）中小企業庁委託「中小企業の成長と投資行動に関するアンケート調査」（2015年12月、㈱帝国データバンク）

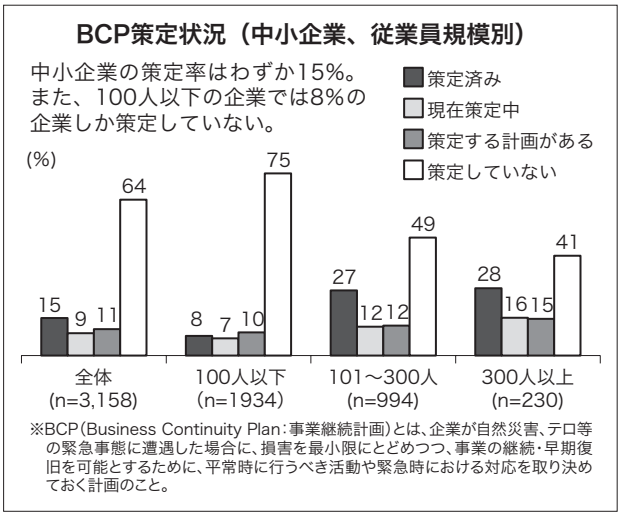
●稼ぐ力を支えるリスクマネジメント

自然災害の高頻度化やITの普及拡大に伴う情報セキュリティへの意識の高まりから、大企業は対策を進めているが、中小企業の取組は遅れていると言われる。

そのため、事業継続計画や情報セキュリティ対策、新事業展開に係るリスク評価について、中小企業の取組の現状と課題を分析する。また、これらの取組は、緊急時のみならず、平時においても、経営改善につながるなど、稼ぐ力の強化に資するものであることを明らかにする。



（資料）ルーバン・カトリック大学疫学研究所「災害データベース（EM–DAT）」から中小企業庁作成



（資料）中小企業庁委託「中小企業のリスクマネジメントへの取組に関する調査」（2015年12月、みずほ総合研究所㈱

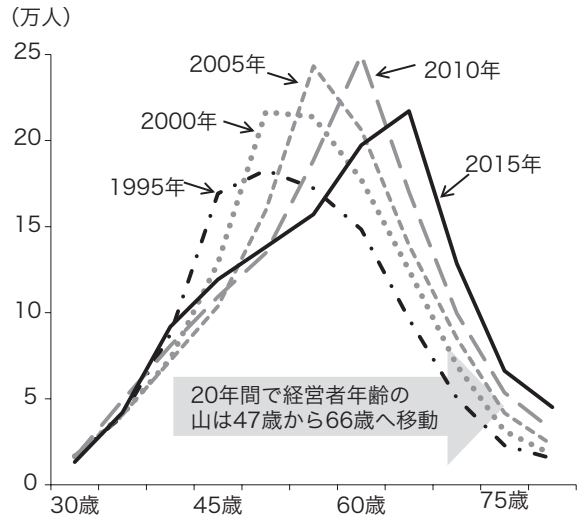
●中小企業の成長を支える金融

中小企業の稼ぐ力の強化に向けては、資金供給が重要となる。そのため、金融機関と中小企業の関係性を分析した上で、企業の事業性を評価した資金供給のあるべき姿について述べる。また、非金融面での支援の現状や課題についても分析し、支援機関と連携した経営支援サービスを提供することの重要性を示す。

●中小企業の稼ぐ力を決定づける経営力

金融機関等との良好な関係を構築しつつ、稼ぐ力に向けた投資を実行していくためには、経営者の経営力が極めて重要となる。そこで、中小企業を、売上高経常利益率と自己資本比率の観点から分類し、稼げる企業や、売上高経常利益率は大企業平均よりも低いが、自己資本比率は大企業平均よりも高い企業の特徴等を確認し、投資の動向や、投資を決定する経営者の意識や企業風土等について分析する。また、中小企業の経営者の高齢化が進展する中、高齢化に伴う経営者の意識や投資行動の変化を分析するとともに、計画的な事業承継の重要性について述べる。

中小企業の経営者年齢の分布（年代別）



（資料）中小企業庁委託「中小企業の成長と投資行動に関するアンケート調査」（2015年12月、㈱帝国データバンク）、㈱帝国データバンク「COSMOS１企業単独財務ファイル」、「COSMOS２企業概要ファイル」再編加工

（注）㈱帝国データバンクの保有する中小企業約120万者分のデータを元に作図

2016年版小規模企業白書の概要

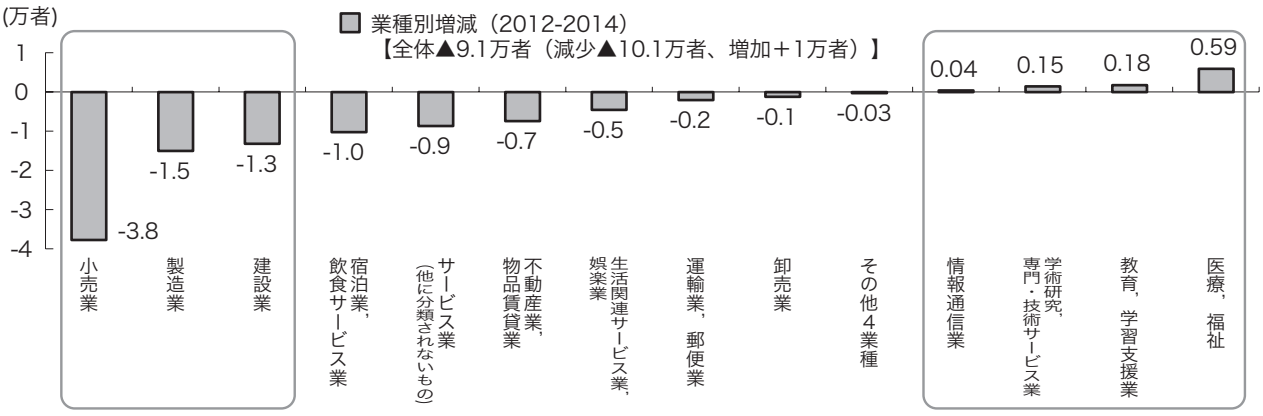
第１部第１章では、政府統計から、小規模事業者の景況や、我が国における小規模事業者（所）の数・従業者数・売上高等の動向を把握する。第２章では、小規模事業者対象のアンケート調査結果から、小規模事業者の事業活動の取組を分析する。第３章では、経営支援活動に関するアンケート調査の結果等から、支援組織側から見た、小規模事業者に対する経営支援の状況等を分析する。第４章では、人口減少社会を踏まえ、政府統計等から、全国の自治体を人口規模別に見た小規模事業者の数や業種構成の違い等を分析する。

第２部第１章では、業績傾向の良好な小規模事業者の特徴を把握する上で、経営者の年齢と業績傾向の相関や、女性の就業先としての小規模事業者の位置付け等を分析する。第２章では、2015年版小規模企業白書に引き続き、ソフトウェアの設計・開発（SE）、ウェブデザイン、ライティング等、自らの持つ技術や技能を拠り所に、組織に属さず個人で活動する「フリーランス」に焦点を当て、フリーランスが事業を営む上での取組等を分析する。

第３部では、第１部及び第２部の分析を受けて、小規模企業振興基本法にのっとり、小規模企業の振興に関する四つの枠組みの観点から選出した、小規模事業者の取組事例を紹介する。

※小規模企業白書が対象とする「小規模企業」とは、小規模企業振興基本法（第２条第１項）に定義された、おおむね常時使用する従業員の数が20人以下（商業又はサービス業は５人以下）の事業者のことである。なお、本白書の本文中では、「小規模企業」に、会社のみならず、個人事業者も含まれることをわかりやすく記すため、「小規模企業」のことを「小規模事業者」としている。

小規模事業者数の業種別増減（2012年－2014年）



（資料）総務省・経済産業省「平成24年度経済センサス–活動調査」、総務省「平成26年度経済センサス–基礎調査」再編加工

（注）「その他４業種」は、「金融業, 保険業」、「複合サービス事業」、「鉱業, 採石業, 砂利採取業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」を括っている。

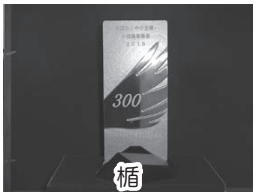
『はばたく中小企業・小規模事業者300社』を授賞！

湯田温泉旅館協同組合
（理事長　宮川　力）

平成28年５月25日、「地域資源の活用や地域課題解決」に真摯に取り組む中小企業等として経済産業大臣より表彰されました。

組合では、ご当地キャラ「ゆう太・ゆう子」による全国観光キャンペーンや他県の温泉地と連携した「温泉卓球」などの企画で宿泊人員を大幅に回復、増加させ、組合主体で温泉水ミスト「ゆだうるる」や菓子「湯田狐福」の開発も行い、地域資源「湯田温泉」の知名度向上を図っておられます。更に、組合員の外国人の接客を支援するタブレット・専用アプリの経費を組合が負担し導入しており、24時間いつでもコールセンターに繋がるシステムにより、外国語が話せない組合員でも安心して接客ができている等の点が高く評価されています。

表彰状



楯

熊本地震被災地への支援物資搬送に協力

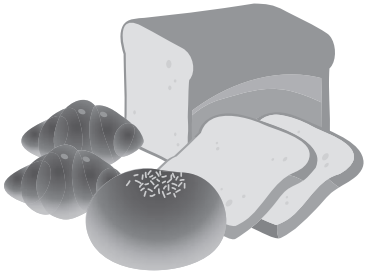
山口県パン工業協同組合
（理事長　松村　豊）

九州、山口の９県では５年前に災害時の応援協定を結んでおり、このたびの熊本地震で山口県は熊本県御船町を重点的に支援することになりました。

本取り組みに対し山口県パン工業協同組合では、災害救助に必要な物資の調達に関する協定に基づき組合員５社から食パンと菓子パン約1万2000個を調達しました。

パンは指定された避難所を含むあわせて40か所で避難しておられる6000人に配られたということです。

調達に協力された組合員は「被災者の皆さんは大変な生活を送られていると思うのでこのたび送った私たちのパンが少しでも役立てば」と話しておられました。



『どうもんGW祭り』の開催

山口道場門前商店街振興組合
（理事長　北條　栄作）

４月29日、商店街にある酒屋の日本酒をはじめ焼き鳥やコロッケなど、ご当地山口の食材を使った屋台、お菓子屋名店の出店や、ジャズを中心としたラテン、ポップスなどの演奏の「どうもんジャズフェスタ」があり、来街者は美味しい食事とお酒を片手に、音楽を楽しみました。また、商店街を巡ってスタンプを集め500円分のどうもん小判（商品券）をゲットする「スタンプラリー」は、多くの家族連れで賑わいました。

『創立50周年記念式典』を開催！

山口県管工事工業協同組合
（理事長　田中　文雄）

５月20日、組合の『創立50周年記念式典』が盛大に開催されました。

来賓の村岡知事からは、「組合の技術向上、業界発展の取組みに敬意を表したい。熊本地震では大きな被害が出ている。災害に強い安心安全のまちづくりに一層ご協力願いたい。」との挨拶がありました。

組合は、昭和40年11月、組合員の経営力・技術力アップを目的に設立。田中理事長は、「これを区切りに活力ある産業として発展し続け、地域社会に貢献できるように努力していきたい。」と挨拶をされました。

式典では技能五輪入賞者や10～50年以上の勤続者の表彰があり、式典前にはテレビでお馴染みの「加藤清隆」氏の講演もあり、一般参加者も楽しみました。

なお、当日の総会の役員改選で弘田壽男理事長に交代をされました。

山口県中央会60周年記念　表彰組合紹介シリーズ

祝「山口県知事表彰　優良組合」受賞

山口県酒造協同組合

住　所：山口市小郡上郷1755番地１
電　話：083-973-1710　　FAX：083-973-1720
理事長：原田　茂

組合の概要について

清酒の自主生産、自主流通米制度等により日本酒の製造が自由化され業界の過当競争が増すことが予想されたため、事業の共同化により組合員の経営の合理化、近代化をめざし昭和44年10月に設立。以来組合員の取り扱う酒類（原材料、こうじ及び酵母等を含む）の共同生産、共同販売、酒類流通容器の共同購買、共同審査、教育情報事業などを行っている。

山口県のお酒の消費量拡大のために

本組合では、消費量が減少する県内日本酒の状況を打開するため役員や青年部が中心となり「やまぐち地酒維新」と称して首都圏にて試飲会を実施し、現在では全国的に売上げが低迷する中で山口の地酒のブランド化に成功し人気を博すなど組合員が一体となって業界の活性化につなげている。

また、「和食」が世界無形文化遺産に登録されるなど、世界的に日本食への評価が高まり、日本食レストランもアジアを中心に増加していることから、アメリカ、欧州、アジアなどの海外市場を開拓し、輸出を大幅に増加させている。

今後は、安定的な内需を確保するため、山口県下の蔵で醸された、普段呑むことのできない特別なお酒や、オリジナル県産酒米「西都の雫」でできた地酒を、蔵元と語らいながら堪能する場の提供など県内での地産地消の促進と首都圏でのファン作りを進めていく。

山口県中央会60周年記念　表彰組合紹介シリーズ

祝「山口県知事表彰　優良組合」受賞

山口県左官業協同組合

住　所：岩国市三笠町２－４－45
電　話：0827-29-3180　　FAX：0827-29-3181
理事長：下野　賢一

組合の概要について

組合設立以前は山口県左官業連合会として、業界発展のため活動してきましたが、規模の縮小や廃業等による同業者の減少という厳しい環境に対応するため、平成17年４月に、「自社を磨き、業界の存在感を高め、多くの組合事業等を実施することにより、次世代の成長を見守る」ことを目的に、協同組合を設立。主に組合員が使用する建材用湿式材料の共同購買事業、組合員の技術向上のための教育情報提供事業を行っています。

山口県の左官業界の発展のために

山口県の左官業界のイメージアップを図りながら、若手人材の確保と技術の向上に注力しており、特に、技能向上に積極的に取り組み、その一環として、技能検定や技能五輪への積極的な参加を推進し、これまでに多くの技能検定合格者や技能五輪出場者等の人材を輩出しています。また、ラジオ・テレビＣＭ、ホームページ等により一般の方へ向けての業界情報の発信も行っており、業界の将来を見据えた組合運営を行っています。

組織を越えた建設業界の課題解決

県内の職別工事業界のレベルアップを図るため、組織を越えた横の連携にも積極的で、山口県鉄筋工業協同組合、山口県鳶工業連合会との合同研修会を毎年実施するなど、課題解決に向けた取り組みを実践しています。

月次景況調査結果

平成28年４月期

※DI値（前年同月比）＝増加・好転組合割合－減少・悪化組合割合
（表については、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。）

４月の業種別景況の前年同月比ＤＩ値は、好転が６業種、昨年同等が７業種、サービス業の１業種のみ悪化の結果である。

受注が好調で回復の兆しがある業種もあるが、全体的には受注や売上の減少の報告が多い。

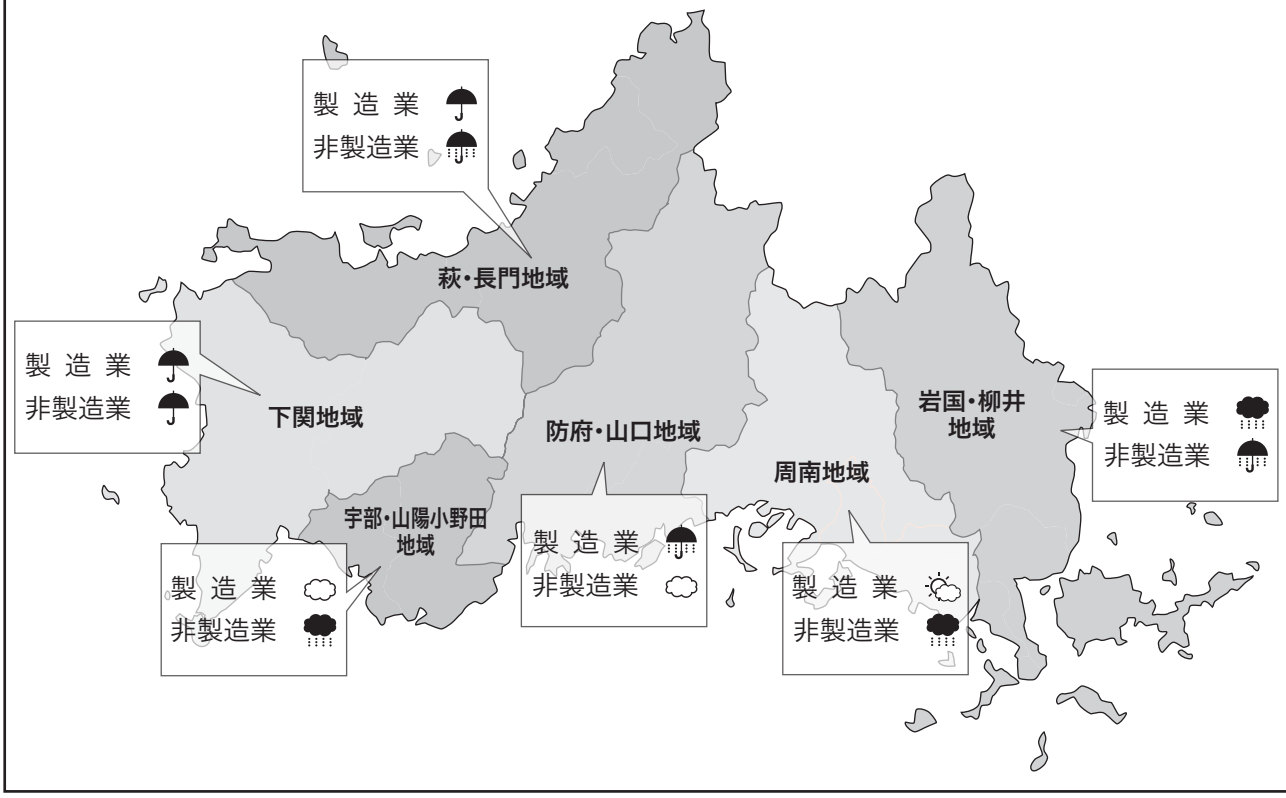
熊本地震による影響としては、自動車関連部品で出荷停止や旅行業で予約キャンセルの発生があげられている。

DI値
- 30以上
- 10以上30未満
- －10以上10未満
- －30以上－10未満
- －50以上－30未満
- －50未満

業種別の景況

	業種	４月期	対前月比
製造業	食料品	☂	→
	繊維工業	☁	↗
	木材・木製品	☂	→
	印刷	☔	→
	窯業・土石製品	☔	→
	一般機器	☁	↗
	輸送機器	☀	→
非製造業	卸売業	☁	↗
	小売業	⛈	↗
	商店街	☔	→
	サービス業	☂	↘
	建設業	⛈	↗
	運輸業	☂	↗
	その他	☁	→

地域別の景況



情報連絡員報告

平成28年４月期

地区・業種を代表する県内組合の役職員60名の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。
また、中央会ホームページ（http://axis.or.jp/）の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製造業	食料品	☂	○　求人広告を出しても応募が少なく人材不足感がある。特にケーキ等洋菓子店で。宇部地区では、昨年大手に奪われた顧客が戻ってきている。（パン・菓子製造業） ○　４月は23日時点で対前年同月比▲15%。昨年を大きく下回っているが、平成27年度売上は約12億円となり過去最高売上をマーク。（水産食料品製造業）
	繊維工業	☁	○　主力販売取引先の受注増により７月末まで受注がある。（下着類製造業） ○　景況は低調だが、国内の縫製工場が廃業・倒産等で切れ目なく受注出来ている。縫製指導者がいる専門会社は大手からの引き合いも多い。（外衣・シャツ製造業）
	木材・木製品	☂	○　新築工事の受注は依然として少なく、売上高は伸びていない。（下関市）
	印刷	☂	○　業界は、市場の縮小やインターネットによる受注業者の市場参入により、過当競争の状況が続いており、この影響を受けて販売価格の下落傾向が続いている。（印刷）
	窯業・土石製品	☂	○　公共工事がほとんどなくなり民間の工事が少し入る程度。厳しい状況がまだまだ続く模様。（砕石製造業） ○　出荷量は前月比99%、対前年同月比90%。平成27年度は対前年度比96%となり、２年連続で対前年度比を割り込んでいる。平成28年度も約94%で３年連続の減少となる厳しい見通しである。（生コンクリート製造業）
	一般機器	☁	○　海外の工事関係の発注がなく先行きが読めない。リーマンショックよりも稼働率が落ち、草むしりやペンキ塗りをしている状況。（一般機械器具製造業　防府市） ○　機械検査、機械加工関係の下請け企業の受注状況に陰りがみられ残業が減っていたが、回復のきざしあり。（一般機械器具製造業　宇部市） ○　金型受注は依然として低迷状態だが、なぜか目先は忙しく残業で対応している。成形製品の熊本地震による影響は、自動車関連部品で１週間程度出荷を停止したが、５月以降の発注の内示は３月並みとなっている。（特殊産業用機械製造業）
	輸送機器	☀	○　３月同様に車両部門、精密加工部門とも作業量に恵まれ好調だが、コスト面では低減要請が強く、厳しい経営状態に変わりはない。（鉄道車両・同部品製造業） ○　円高の影響が出始めていると思われる。（船舶製造・修理業）
非製造業	卸売業	☁	○　海苔の取扱枚数は平成26年度から全国的に減少したが、平均単価が１枚につき0.97円高くなり、売上が増加、在庫数量も増加となった。（乾物卸売業） ○　養殖フグの高騰と品薄は相変らずで、利益が出ないままフグのシーズンが終わる模様。鮮魚に期待したいが鮮魚も入荷が少ない。（生鮮・魚介卸売業）
	小売業	☂	○　景気が悪くなったのか全体的に売上が微減。下関では韓国・中国の爆買いは一度もない模様。メーカーの新商品発売もないので盛り上がりも欠けた。（化粧品小売業） ○　駅ビル地上部分の解体、市役所仮庁舎の運用開始など中心市街地は徐々に様変わりし、来街者の流れも変化しつつあるように感じる。（各種商品小売業　周南市）
	商店街	☂	○　売上は衣料品関係の店舗は数ヶ月連続して前年割れ。雑貨・化粧品関係は前年同等をなんとか維持。熊本地震の募金活動をスタートしている。（山口市） ○　衣料関係は良かったが他の業種は良くなかった。（萩市）
	サービス業	☂	○　３月は好転したが４月に入って不変となった。熊本地震に対して、山口県組合も独自に募金箱を設置。とても関心がある模様である。（理容業） ○　熊本地震の影響で予約キャンセルが相次いだ。大型連休前となって回復しつつあるが前年を下回っている。一時避難先の要請があれば体制を整えるつもり。（旅館業）
	建設業	☂	○　工事量が減少し、２月頃からは応援先を探している同業者が増えている。５月頃までこの状態が続くものと思われる。（左官業） ○　ここ５～６年、年度初めの２～３ヶ月は公共工事が０円である。（土木工事業）
	運輸業	☂	○　鉄鋼関係の輸送量は国内・輸出とも下降傾向で、対前年対比で差引き０円である。長距離ドライバー不足は続いており望み薄である。（一般貨物自動車運送業） ○　タクシー事業が不況業種なのかも知れないが、「緩やかな回復基調」が続いているようには思えない。中国・欧州の経済停滞に加え、熊本地震も加わり、景況感はますます厳しくなっているように思われる。（一般旅客自動車運送業）

シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」その30

水産養殖飼料の原料となる、鯨油由来フィードオイルの量産試作に成功

（技術分野） ものづくり技術一般型
（類　　型） 試作開発＋設備投資
（会社概要） 吉田総合テクノは、昭和21年の創業以来、下関のゴム製品・輸送機器・金属などの大手工場向けに、機械設備や電気生業装置を製造し、据付や配管工事を行っています。

近年は新規事業にも取り組んでおり、業務用手作り豆腐製造機、「ちいさなお豆腐屋さん」は好評で、大手居酒屋チェーンや有名ホテルチェーンなどに採用され、発売開始から累計2,500台を出荷するヒット商品となっています。

鯨は、灯火用燃料にするために乱獲された歴史もあり、現在では調査捕鯨等に限って捕獲されています。“日本一のくじらのまち”下関だからこそ、時代に合った新しい価値を発見し続け、限られた資源である鯨を有効に使い、後世まで残る製品や技術を作り上げたいと思っています。

代表取締役社長
吉田　治重 氏

（事業概要） あるとき、下関市内の水産加工会社から「鯨油は排水管を閉塞させるし、とてもくさいので困っているが、なんとかならないか。」との相談を受け、油脂成分の分析から取り組み、保湿成分が豊富で肌にはりやツヤを与えるということが解かりました。

鯨の強烈な臭いがありましたが、臭気成分を低減することに成功して化粧石鹸「ミンキーソープ」として発売しています。

養殖漁業では魚油資源の不足と価格の高騰が大きな課題となっていますが、鯨油は養殖飼料の魚油の代替が出来ると考え「鯨油フィードオイル（水産養殖用飼料油脂）」の研究開発を開始し現在は、カンパチを用いた検証試験で魚体中の脂質を1.5倍にすることが出来ました。脂がのったおいしい魚が食卓に上がる日もそう遠くないところまで来ています。

遠心分離機

株式会社吉田総合テクノ
〒759-6301　下関市豊浦町大字川棚6066番地１
TEL：083-772-0140　FAX：083-772-1675
URL：http://www.kk-yst.co.jp

事業主の皆様へ

労働保険の年度更新手続等について

–お知らせ–

◎　**年度更新の手続について**

労働保険に係る平成27年度分の確定保険料と平成28年度分の概算保険料の申告・納付手続は**６月１日から７月11日**までの間に行ってください。

◎　**電子申請、電子納付について**

電子申請を行うこともできます。また、申告書を電子申請した場合には電子納付を行うこともできます。

詳細については、電子政府の総合窓口　**http://www.e-gov.go.jp/** をご覧ください。

６・７月の２ヶ月間、山口労働局労働保険徴収室に、労働保険手続きに係る電子申請体験コーナーを設置することとしておりますので、是非ご活用ください。

◎　**申告書受付相談会の開催について**

県内各地において、申告書の記入相談・受理、保険料の納付などができる「申告書受付相談会」を行いますので、ご利用ください。

お問合せ先：山口労働局労働保険徴収室　☎083-995-0366
ホームページ　http://yamaguchi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/

山口県知事、厚生労働省山口労働局長、山口県教育委員会教育長より
求人確保等に関する要請がありました

５月16日(月)、小松原正俊山口労働局長、阿野徹生県商工労働部長、浅原司山口県教育委員会教育長が本会を訪ねられ、若者の正社員求人の確保・拡大、新卒者等の職場定着、非正規雇用労働者の正社員転換及び障害者の雇用確保についての取組みを進められるとともに、仕事と子育て等の両立に向けた環境作りなど、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けて積極的に取り組むよう要請がありました。

つきましては、本会会員組合・組合員企業の皆様には、趣旨をご理解賜り求人確保等に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

1　若者を中心とした正社員求人の確保
- 新卒予定者の正社員採用枠の確保
- 卒業後３年以内の未就職卒業者の新卒採用枠での応募機会の確保
- 新卒者等の職場定着の促進
- 正社員求人の拡大と非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善

2　ワーク・ライフ・バランスの推進
- 仕事と子育て等の両立に向けた環境づくりの推進
- ポジティブ・アクションの推進

3　障害者の雇用確保
- 障害者雇用率の引上げに対応した障害者の積極的な雇用確保

山口県中小企業団体中央会青年部
第25回通常総会

日　時：平成28年 **7** 月 **20** 日(水)

場　所：**セントコア山口**
山口市湯田温泉３－２－７　☎083-922-0811

会員の皆様のご出席をお待ちしております。

同日開催　**『若手後継者・組合青年部等交流会』**

山口県中小企業団体中央会青年部では、組合青年部間の経験交流を深め、相互啓発と連携強化のため、若手経営者や組合青年部等を対象に基調講演と懇親交流会を毎年開催しています。

後日ご案内の予定です。乞うご期待‼

開催日　平成28年 **7月20日(水)**
会　場　**セントコア山口**
受講料　**無料**(懇親交流会は6,000円)

お問い合わせ先：山口県中小企業団体中央会　担当：小倉／花田　☎083－922－2606

きらり★人材レター

2016 Jun

山口県豆腐商工組合　理事長　**清水　実**さん
太平食品株式会社　代表取締役

このたび山口県豆腐商工組合の理事長に就任された『太平食品株式会社』の代表取締役清水実さん。“すべては美味しい豆腐のために”豆腐のことだけを考えて30年の熟練の職人さんです。

趣味はドライブやモトクロス。自動車の整備工場を経営することが夢だったそうで、実は整備士の免許もお持ちです。今は映画観賞と最近になって勉強を始められた料理に夢中だとか…。

人に頼まれたら、出来るだけ断らずに挑戦することがモットーの清水さん。「近年は廃業も多く組合員は12名になりましたが、豆腐工場の見学やおいしい豆腐の作り方の勉強など組合の原点に戻った活動をしたい♪」とやさしい笑顔で話して頂きました。

☆太平食品株式会社
防府市高倉２丁目17－３　☎ 0835-22-3929
営業時間　9:00～17:00　／　定休日　日曜日
ＨＰ：http://taiheisyokuhin.co.jp/

山口県中小企業団体中央会
〒753-0074　山口市中央４丁目５番16号
山口県商工会館６階
☎ 083-922-2606　Fax 083-925-1860
HP http://axis.or.jp/
印刷製本　株式会社 桜プリント社

PRINTED WITH SOY INK